

氏名	常 盤 孝 義
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 3 7 2 号
学位授与の日付	昭和48年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科病理系腫瘍病理学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学 位 論 文 題 目	Cultivation of Rat Spleen Cells and Biological Characteristics of a Established Line (ラット脾細胞の培養とその生物学的特徴について)
論 文 審 査 委 員	教授 小 川 勝 士 教授 妹尾左知丸 教授 小 田 琢 三

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ラッテ脾組織よりリンパ系細胞，ないしはプラズマ系細胞の分離を目的として，培養株化された一系についてその性状を検討した。

- 1) 単層培養において繊維芽様細胞とプラズマ細胞様円形細胞が培養の主体をなし，継代の初期では前者の細胞が優勢であるが，後期では後者の細胞の出現を認めるようになる。
- 2) 細胞集塊の組織像ではこれらの傾向が一層顕著となり，8日目の集塊はリンパ濾胞様構造を示した。
- 3) 同系ラッテへの可移植性を認め，形質芽細胞腫の組織像を呈した。
- 4) コロニー分析により，円形細胞を含むコロニーと含まないコロニーが分類され，前者の細胞のグロブリン産生能を認めた。

以上の事実，株細胞のプラズマ系細胞としての性格を示すものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は，正常ラット脾組織より単層培養法と旋回培養法を用いてグロブリン産生能を有する円形細胞を分離し，これが形質細胞としての性状を明らかにしたものであるが，従来の報告にみられない重要な知見を得たものとして免疫学的に価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。